



透明な軸線 — Transparent Axis —

北名古屋市の郊外の市街化調整区域に建てられた家族3人のための住宅。
 東南は公道、西北は水田に囲まれた100坪ほどの敷地はのどかな風景の中にある。
 北西方向の伊吹山に向けて、ジグザグの平面を45度振って軸線を配置し、周囲には
 木塀により4つの庭が生まれる。その木塀には様々な形式の開口部を設けること
 により、なるべく閉鎖的になることを避け、季節や場面によって状況が変化する外部
 空間とした。ダイニング部分に関しては、外部デッキー内部空間ーデッキー田圃
 とつながる「透明な軸線」が建物を貫き、その彼方に伊吹山を望む。
 二階のプライベート空間は「透明な軸線」とは直交して配置し、一階のパブリック
 スペースの気配を感じながら全体の空間がつながるように計画している。
 周辺集落などの状況を鑑み、切妻屋根を採用しヴァナキュラーな建築を目指した。
 あたかも農機具倉庫のような佇まいの住宅はアノミマスな風景の一端を担っている。

